

えどがわ 区議会 だより

令和3年第4回定例会号

発行
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を 心からお祈りいたします



区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和4年の幕開けにあたり、江戸川区議会を代表し新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、感染力が強いデルタ株の流行や3度に渡る緊急事態宣言の延長、更なる変異株の出現等、新型コロナウイルスとの闘いといっても過言ではない1年でした。

本区におきましても、ワクチン接種体制の確立、医療体制の充実、区内事業者の方々への融資等、様々な対策を行いました。まだまだ予断を許さない状況が続いていますので、引き続き感染拡大に備え、区と緻密な連携をとり、区民の皆様が安全安心な生活を送ることができるよう取り組んで参ります。

そして今後は、コロナウイルス対策と同時に、アフターコロナを見据えた社会基盤の構築も求められます。区民生活、区内産業や経済の活性化のため、区議会といたしましても移り変わる状況を的確に捉えながら、柔軟かつ迅速に対応していく所存です。

一方で、喜ばしい出来事もございました。5月に本区はSDGs未来都市に選定され、その後、共生社会実現への決意表明ともいえる「ともに生きるまちを目指す条例」を制定、区議会ではSDGs中学生議会を開催し、子どもたちにSDGsの認識を高める機会を創出いたしました。

また、夏には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、選手達の活躍する姿は感動と勇気を与えました。本区では「東京2020パラリンピック22競技“できる”宣言」を行い、パラスポーツの実施環境を整えております。このような障害の有無や年齢にかかわらずスポーツに親しめる、誰一人取り残さない社会の実現に向けた取り組みを、この大会のレガシーのひとつとして未来に継承して参ります。

都市交流に目を向けますと、新潟県南魚沼市、山形県鶴岡市との友好都市盟約締結から、それぞれ1周年、40周年を迎えました。姉妹都市のハワイ州ホノルル市とも、Web会談を行い、交流を進めております。今後も相互の交流と文化の発展を更に深めつつ、本区の魅力を世界にも発信いたします。

新たな年を迎え、本区には、児童文学館の開設、新庁舎建設や行政のDX化の推進等、多くの施策がございます。課題も多岐に渡りますが、本年も江戸川区議会は、区民の皆様の声をしっかり受け止め、政策提言を積極的に行い、行政に対するチェック機能も十分に働かせ、議員一同、全力で活動して参ります。

今後とも、区民の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

令和4年新春

江戸川区議会 議長 福本 みつひろ
副議長 堀江 そういち

迎春

高木ひでたか 自由民主党	ふじさわ進一 自由民主党	野崎まこと 自由民主党	中山たかひと 自由民主党	斉藤つばさ 自由民主党	田島寛之 自由民主党	しかくら勇 自由民主党	白井正三郎 自由民主党	栗原ゆたか 自由民主党	田中寿一 自由民主党
福本みつひろ 自由民主党	早川和江 自由民主党	川口としお 自由民主党	須賀精二 自由民主党	島村和成 自由民主党	川瀬やすのり 公明党	竹内すすむ 公明党	中道たかし 公明党	関根まみ子 公明党	太田きみひろ 公明党
所たかひろ 公明党	佐々木ゆういち 公明党	くぼた龍一 公明党	堀江そういち 公明党	伊藤てる子 公明党	田中じゅん子 公明党	岩田まさかず 江戸川クラブ	小林あすか 江戸川クラブ	ます秀行 江戸川クラブ	笹本ひさし 江戸川クラブ
小俣のり子 日本共産党	牧野けんじ 日本共産党	セバタ勇 日本共産党	大橋美枝子 日本共産党	伊藤ひとみ 生活者ネットワーク	本西みつえ 生活者ネットワーク	神尾てるあき えどがわ区民の会	金井しげる えどがわ区民の会	間宮由美 無所属	滝沢やすこ 無所属

令和3年第4回定例会

新型コロナウイルス感染症対策関係費等を含む補正予算を可決



令和3年第4回定例会は11月24日から12月10日までの17日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、新型コロナウイルス感染症対策関係費などを計上した補正予算を含む議案21件、報告3件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員から「固定資産税及び都市計画税の減免

措置の継続に関する意見書」を含む2件の議案が提出され、それぞれ可決されました。意見書は、各関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

上記のQRコードから本会議の録画配信映像を視聴できますので、ぜひご覧ください。

区政への質問

11月29日に代表質問、30日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧ください。

代表質問



**危機管理体制の強化を！
新庁舎建設と船堀駅前活性化！**

自由民主党
田中 寿一



図 新型コロナウイルスの影響下にあった令和3年の区民生活を、どのように振り返るか。また、健全財政を堅持しつつ、一層の感染症対策の強化と区民生活万般を守る取り組みの充実に向けた、区長の決意を。

昨年から続く未曾有の危機は、区民・事業者に多くの苦しみをもたらし、改めて「健康」の大切さを認識した。財政面の予想は難しいが、区財政に及ぼす影響にも留意しながら、これまでの課題を検証し、そこで得た経験を次に生かして区民生活を守っていく。また、「オール江戸川」で困難に立ち向かい続けた経験は、より良い未来を築く原動力になるはずであり、そうなるよう区政を進めていく。

図 防災危機管理体制強化のため、退職自衛官、とりわけ女性の退職自衛官を管理職に採用することについて、区長の考えは。

自衛官として長年培った経験、専門知識・技術は、大規模災害時の対応力向上や、平時の防災訓練や啓発等の地域防災力向上に非常に有用である。女性自衛官の採用については、自衛隊に働きかけ、具体的に進めていきたい。

図 船堀駅周辺地区まちづくりについて。

①新庁舎建設用地取得の協議状況と今後の見通しは。また、公園等、用地取得後の暫定的な利用について、検討すべきと考えるが。

②船堀街道東側に多様な機能が集積していく中、次なる段階として、船堀駅西側において、改札の設置や交通広場の整備、そして、賑わいを担う空間としてのまちづくりが必要と考えるが。

③新川千本桜の名所・名物・賑わいづくりについて、中核となる新川さくら館を中心に、今後

どのような取り組みを進めていくのか。



新川千本桜の名所・名物・賑わいづくりについて

①都から予定価格の通知が届き次第、その金額の妥当性を検証し、区の財産価格審議会を経て、来年度予算案として提出、その後、契約議案を上程したい。また、用地取得後は、残存物がなく安全性の高い場所で、広場等の暫定利用を検討していく。

②東西一体となった船堀駅前のまちづくりを進めていくために今年6月に設立した、船堀駅前地区まちづくり協議会を中心に、駅前地区の将来像である基本構想を検討していく。

③全国有数の桜の名所として、桜の時期だけでなく、年間を通して、区内外から更に多くの方に来訪してもらえるよう、地域や地元商店街の皆様の声を聞きながら、新たな魅力・賑わいづくりに取り組んでいきたい。

図 緑化運動の開始から半世紀を迎えた今、その歴史と区民の思いの姿により織りなされる公園のあり様を、改めて見つめ直す必要がある。これからの時代にふさわしい公園のあり方について、区長の考えは。

本区の自然豊かな環境は、これまで長きに渡り区民の皆様とともに作り上げてきたものである。公園は地域の貴重な財産であり、今後子どもから熟年者まであらゆる世代の方々に公園を主体的に活用してもらい、誰もが笑顔になれる環境づくりを進めていきたい。

図 自動車保有率の減少、そして自動車を取り巻く今日的な状況を鑑みると、駐車場の附置義務について、見直しを図るべきと考えるが。

昨年7月から1年4か月かけて、賃貸と分譲の駐車場利用実態調査を行った。この実態調査の結果と、将来における自動車保有率の減少を

踏まえ、現在の駐車場附置義務規定の見直しを進めていきたい。

図 学校図書館司書の4年間に渡る配置計画が本年度で終わりを迎えるが、この間の成果と今後に対する教育長の考えは。

配置計画に対する学校からの評価は、全て前向きなものであった。読書科の効果を更に高めるためにも、図書館司書の役割は大変大きいものであり、来年度の配置に向け、現在、具体的に検討を進めている。また、地域図書館との連携についても検討を進めているところである。



**東部地区を障がい者・パラ
スポーツのメッカに！**

公明党
川瀬 やすのり



図 区役所新庁舎建設と船堀駅周辺のまちづくりについて。

①設計者と再開発事業者との調整に今後どのように関わり、庁舎の全体像を示すのか。

②所有地の取得について、区長の強い思いを。

③船堀駅周辺高台まちづくりの姿をどう示すか。

④新たなシンボルになる新庁舎について。

1)ハード面のバリアフリーの取り組みは。
2)船堀のまちのユニバーサルデザインと心のバリアフリーへの取り組みは。

①専門家と共に取り組んでいく。令和4年度末までに基本設計方針として示したい。

②区議会説明や事務手続きを丁寧に進め、地域の期待に応えられるよう全力で取り組んでいく。

③まちづくり協議会で検討を進めていきたい。

④1)障害の有無や年齢、LGBT、国籍等を問わず、全区民がストレスなく利用できる庁舎を目指す。

2)ハードソフト両面の施策を行う。マスタープランを策定し船堀駅周辺をモデル地区にしたい。

図 新型コロナウイルス感染症対策について。

①3回目ワクチン接種体制とスケジュールは。

②ワクチン未接種の接種希望者への対応は。

③個別接種の情報発信の改善について。

④コロナフリーの医療機関での準備状況は。

⑤年末年始の医療機関や保健所の体制は。

⑥後遺症に関する相談窓口や支援体制は。

①12月から医療従事者、令和4年2月から65歳以上の高齢者の接種を開始する。2回目が集団接種の方には予め接種日時を指定すること

で、予約の負担を解消していく。

②個別医療機関で接種できる。令和4年2月からは集団接種会場でも接種が可能である。

③全医療機関にアンケートを行い、その結果を見て、掲載内容をリニューアルする予定である。

④6医療機関で実施。搬送体制も整っている。

⑤医師会の夜間休日診療所等、年末年始も行う。保健所は通常の週休日と変わらない体制である。

⑥相談窓口を立ち上げホームページで周知している。実態把握に努め、関係機関と連携を図る。

📌 気候変動適応対策の推進について。

①省エネ家電やエコカー購入等への融資あっせんを「(仮称)気候変動適応対策あっせん融資」にし、更なる普及促進に繋げるべき。

②災害時に移動式電源として活用できる電気自動車の購入やカーシェアリングについて。

🗨️ ①融資の一本化はできないが、一覧として見ていただけるような方策を考えている。

②庁用車の入れ替えと合わせて切り替えたい。カーシェアリングは他団体を参考に研究する。

📌 本区のDXの推進について。

①デジタルバйд解消の取り組みについて。

②目で見て理解できる周知方法を検討しては。

③マイナンバーカードの普及促進について。

🗨️ ①教室を開く等、全庁をあげて取り組む。

②様々な広報メディアを活用していきたい。

③今後も丁寧なサポートを行いながら、誰もが申請しやすい環境づくりを進めていく。

📌 学校図書館司書の導入と蔵書管理のデータベース化について。

①学校図書館司書の全校配置の早期導入を。

②蔵書管理のデータベース化を。



📌 学校図書館司書の導入について

🗨️ ①来年度の配置を具体的に検討している。

②導入方法を含めて、検討に入っている。

📌 東部地区の諸課題について。

①東部地区沿川の施設整備の具現化について。

②くつろぎの家のあとの施設について。

🗨️ ①令和4年度末までに構想計画を策定したい。まちづくり勉強会でも検討していく。

②幅広い世代が利用できる、誰にでも優しいユニバーサルデザインの施設を整備したい。



子ども達の声も家族の声も届く街を目指して!

江戸川クラブ
小林 あすか



📌 新型コロナウイルス感染症対策について。

①第6波や今後の新しい生活様式を考えるならば、感染者が減少している今、積極的疫学調査をしっかりと行う必要があると考えるが。

②3回目のワクチン接種予約を、希望者が混乱なく行えることが重要と考えるが、区としてどのような対策で臨むのか。また、交互接種についての課題をどのように捉え、対策をしていくのか。

③区の経済復興やイベント再開のためにも、ワクチンパスポートの活用を促すとともに、普及啓発に取り組むべき。また、ワクチン未接種者

📌 が生きづらさを感じないよう配慮を。

🗨️ ①現在、対象者ごとの丁寧な積極的疫学調査を行っており、今後も医療機関の協力を得ながら、感染拡大防止に努めていく。

②1・2回目の接種の経験を活かし、区民の負担なくスムーズに接種が受けられるように、医師会とも相談しながら進めていきたい。また、交互接種の際には複数人で確認を行う等、間違い接種が起こらないように、医師会と十分協議しながら進めていく。

③デジタル庁が検討しているアプリによる電子証明や、「TOKYOワクション」アプリ等の周知をしっかりと行っていく。様々な事情によりワクチン未接種の方が、差別や不利益を被ることがないように、区のホームページ等を通じて適切な周知・呼びかけを行っていく。

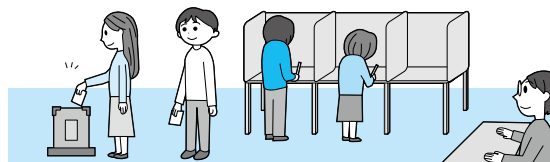
📌 みんなのえどがわ大会議について、今後どのような展開を考えているのか。これまで以上に多種多様な声を拾うため、様々な媒体・技術を使って、参加方法や手段の工夫を。

🗨️ 今年度中にビジョンを作成する予定であるが、作って終わりではなく、時代に合わせて変えていくべきものである。今後も区民の意見を広く聞くことが大切。多様な媒体・技術の活用を含め、工夫を重ねたい。

📌 江戸川区内の投票率について。

①どのように分析し、検討しているのか。

②若年層や子育て世代に向け、学ぶ場の提供等、投票率が向上するような取り組みを。



📌 江戸川区内の投票率について

🗨️ ①各選挙の結果から年代別や地域別等の分析・検討を行っている。その結果を踏まえ、今年度より各地域に重点地区を定め、その地域特性に合わせた啓発活動に取り組み始めたところである。

②今後、若年層や子育て世代にターゲットを絞った啓発活動も検討し、選挙に関心を持てるよう、様々な環境づくりを進めていきたい。

📌 区立小中学生に配布されたタブレットについて。

①今後、タブレット内のアプリの検証等を、どのように行っていくのか。ICTが得意ではない保護者や教職員も多いため、教育委員会主導で精査していく必要があるのでは。

②江戸川区のホームページについて、キッズページの作成等、子どもたちが調べたくなるような工夫を。

🗨️ ①GIGAスクール推進委員会を通じて、現場の先生方の意見を聞きながら、必要なアプリの精査を行い、タブレット端末を活用した効果的な学習を目指していきたい。

②現在、子どもたちにとって必要な情報、見てもらいたい内容を集めたホームページの作成の準備を始めたところである。子どもたちに見たいと思ってもらえるような工夫を取り入れることを忘れずに進めていきたい。

📌 家庭から学校への出欠席連絡のオンライン化等について、リスクや懸念点がある一方で、オンライン化のメリットは大きく、少しの工夫で解決できる課題もあると考えられるため、改めて検討を。

🗨️ 一部の学校では、GIGA端末を活用した連

絡方法を取り入れているが、使いづらいという声も聞いている。どのような使い方が望ましいのか、学校とも協議していきたい。

📌 不登校の状態にある子どもたちの様々な課題に対応するため、学校サポート教室の充実やフリースクールに通う際のサポート等、今後より丁寧な対応が必要と考えるが。

🗨️ 学校における取り組みの事例を多く集め、広く学校に周知し、実践に繋げていくことで、不登校児童・生徒の学校への繋がりが途切れないようにしていく。区が主体的に関わっていくことが大切であり、スクールソーシャルワーカーによる積極的な支援ができるよう、引き続き体制の強化に努めていく。

📌 国の新型コロナウイルス感染症の経済対策のひとつである、子どもへの給付金について、今回の給付金が配布されない家庭に対し、区独自の支援を。

🗨️ コロナ禍での生活が厳しい状況にある世帯への給付という趣旨であれば、一定の所得制限はやむを得ないと考えており、区独自の給付金の支給は考えていない。



コロナ6波の備えを、気候危機対応、学校跡地活用を

日本共産党
セバタ 勇



📌 新型コロナウイルス感染拡大第6波への対策について。

①区内における病床や軽症者用宿泊療養施設等の確保、保健所の体制強化の見直しは。

②医療機関との連携による自宅訪問支援、抗体カクテル投与による重症化予防等の対策は。

③第5波で事実上縮小した積極的疫学調査を復活させ、PCR検査を拡大するとともに、感染拡大傾向が見られる時には、無料検査対象者の区独自の拡大や検査費用の軽減を。

④緊急小口資金等の返済免除対象者の拡大を国に求めるとともに、緊急小口資金利用者に区独自の給付を。また、生活に困窮する区民への年末年始の相談窓口の開設を。



📌 第6波への対策について

🗨️ ①国や都と連携し、医師会の協力の下、想定を上回る感染者が発生しても、十分に対応できる医療・保健所体制の計画を検討している。

②医師会の先生方による往診を行っている。抗体カクテル療法等は、区内6つの医療機関で実施しており、搬送体制も強化している。

③現在も積極的疫学調査を行っており、濃厚接触者へのPCR検査は無料である。自費検査については、国や都の動向を注視していく。

④返済免除対象者の拡大は既に実施している。必要な支援をより強力に推し進めていく。年末年始も相談に対応できる体制を組んでいく。

📌 気候危機対応と温室効果ガス削減について。①日本一のエコタウンにふさわしい温室効果ガス削減目標を制定するとともに、その制定過程を可能な限り公開してほしいと考えるが。

②ローカル・カーボン・ニュートラル制度についての考えは。また、学識経験者や環境NPO・

NGO等の意見を反映した制度の構築を。

- ③地域電力会社設立についての考えは。また、太陽光システムを無料で設置し、自家消費分を設備利用料として支払うような仕組みの導入を。
- ④ソーラーパネル設置補助の実施とエネルギーの総合相談窓口となる「(仮称)エネルギー相談所」の設置を。

☎ ①国の上方修正に伴い、本区も目標値の見直しを検討している。現在策定中の計画案をエコタウンえどがわ推進本部会議に諮るとともに、意見募集も行いながらまとめていく。

②制度については、今後研究を進めていく。認定NPO法人えどがわエコセンターにも意見を聞きながら、進めていきたい。

③RE100実現に向けた手段のひとつと考える。本区に合った手法を幅広く研究していく。

④設置補助については、既存の融資制度を活用してもらいたい。エネルギーに関する相談は、気候変動適応センターで対応していく。

図 公共施設再編・整備と小松川・平井地区の課題について。

①区民ワークショップと「今後の検討の方向性」や「総合管理計画」との関係は。

②小松川・平井地区の学校跡地の利用計画について、どのように考えているのか。

③住民参加による徹底した民主的な手続きを通じて、跡地利用の検討を。

☎ ①「今後の検討の方向性」は、議論の素材として公表した。ワークショップは、公共施設の将来像について意見を聞くものである。

②令和2年11月に基本方針を公表しており、その方針に則って考えていきたい。

③地域の皆様とワークショップや勉強会のような会議体を立ち上げ、進めていきたい。

一般質問

まずはコロナ対策、今だからこそ前に進もう



自由民主党
野崎 まこと



図 アフターコロナについて。

①コロナ後を見据えた、公共私連携と地方公共団体の広域連携が必要と考えるが。

②まちの賑わいづくりのため、駅前広場の更なる活用や再開発事業地区の道路・民有地と一体化した魅力的な道路空間を、どのように創出していくのか。

③「観るスポーツ」を充実させることで、区外からの観戦者による消費拡大効果やサポーター等による新たなコミュニティ創出も期待できる。スポーツを通じた地域の活力向上について、区長の考えは。

☎ ①区民のみならず、地域に関わる様々な担い手との連携や他自治体との広域連携は、重要である。区職員をはじめ、区全体でその意識を共有しながら、コロナ後のより良い地域社会に向けた取り組みを展開していきたい。

②駅前広場の更なる活用や、再開発事業地区の道路と民有地の一体化により、魅力的で賑わい溢れるコミュニティを創出していきたい。

③「観るスポーツ」の充実を図ることは、地域経済への波及効果や地元チームへの愛着向上等が期待できる。今後も「観るスポーツ」を通じ

た地域の活力向上に努めていきたい。

図 脱炭素社会実現への取り組みについて。

①脱炭素社会実現の意味・課題について。

②実現に向けた具体的な取り組みについて。

③SDGsの目標13番「気候変動に具体的な対策を」も踏まえ、本区が目指すべきゴールについて、どのように考えているのか。

☎ ①本区は水害により、地球温暖化に伴う気候変動の影響を真っ先に受ける地区であり、脱炭素社会の実現に向け、区民や事業者が「自分事」として取り組んでいく必要がある。

②これまで区民・事業者・行政が一体となって、温室効果ガス排出の削減に取り組んできた。今年度、気候変動適応センターを設置し、気候変動適応計画の策定も進めており、今後も緩和策・適応策ともに取り組んでいく。

③行動を起こすことで先人たちが築き上げた素晴らしい江戸川区を次世代の子どもたちに引き継いでいく。それを本区のゴールと考えている。

図 水害対策について。

①2019年の台風19号の際、区民の避難行動は正しかったか。また、区民に望むことは。流域ごとの治水の理解と避難方法については、更なる工夫が必要では。

②スマートフォンの活用による防災リテラシーの向上について、区長の考えは。

③区民の防災レジリエンスやリテラシーを向上させる必要があると考えるが。

④災害時の水の確保について、区長の考えは。

☎ ①避難情報が正しく理解されなかった事象もあり、検証を重ねながら改善に取り組んできた。本区の水害ハザードマップには、河川ごとの情報が掲載されており、区民がそれぞれの事象を理解することが重要である。今後もあらゆる機会を通じて啓発していきたい。

②現在開発を進めている、本区の防災ポータルや防災アプリを活用し、区民の安全・安心を高めていきたい。

③平時に防災の情報を収集し、自分のものにしておくことが重要である。今後も災害時に自分の身を守る行動ができるよう、区民にしっかり伝えていきたい。

④区では水害ハザードマップにより、大規模水害時には2週間水が引かないことを踏まえ、広域避難を呼びかけている。それでも自宅に留まる場合には、2週間分の備蓄を勧めている。

図 特殊詐欺防止対策について、現在、どのような対策をしているのか。また、自動通話録音機給付の対象条件の緩和や有償対応等について、区長の考えは。

☎ 自動通話録音機の給付事業に加えて、本年9月より、地区を指定して防災行政無線を活用した呼びかけを行っている。給付の対象条件の緩和等については、これまでの成果を見極めていきたい。

図 ヤングケアラー支援について。

①ヤングケアラー支援の現状について。

②庁内の各部署が連携して対応することが重要であると考えるが、区長の考えは。

☎ ①自分自身がヤングケアラーであるという認識がない場合が多い。本人と周囲がそのことに気づくことが重要であり、子どもの気持ちを尊重しながら対応していく必要がある。

②福祉・介護・医療・教育等の様々な関係部署・機関との連携が非常に重要であり、連携を強めながら、子どもたちの権利が守られるよう、支援していきたい。

SDGsの推進で地域共生社会の実現を！



公明党
中道 たかし



図 ダイバーシティの推進及び自治体SDGsについて。

①「知る・理解する」の取り組みの達成度をどのように検証し、次に進む判断をするのか。

②周辺自治体や国との連携のあり方について。

③多様性が受け入れられる社会の理想とするまちの姿について、区長の考えは。

☎ ①ホームページやTwitterで認知度調査を実施している。世論調査の結果はまだ出ていないが、その数字を検証し、令和4年度は行動に繋がるような年にしたい。

②国とは、定期的に施策の進捗確認や有識者によるアドバイスをいただいている。周辺自治体とは、SDGs未来都市の豊島区と墨田区や、都も含めて意見交換を実施しており、これからも連携を図っていきたい。

③子どもから熟年者まで、障害の有無や国籍に関わらず様々な人がいるため、良い意味での「ごちゃ混ぜ」が理想の姿と考える。頑張れない時や後ろ向きな気持ちの時でも、ここにいていいのだと思える地域にしたいという想いを区民と共有し、ともに生きるまちをつくりたい。

図 児童相談所・一時保護所の子どもアドボカシーと課題について。

①子どもアドボカシーの取り組みについて。

②児童相談所と保護者との間における、第三者による苦情対応の仕組みについて。

③児童相談所の体制強化について。

☎ ①週に一度十分な研修を受けたアドボケイトが複数名来所し、意見表明支援を行う。独立性や来所頻度も高い。研究者との連携で科学的な分析も進め、更なる向上を目指したい。

②常勤弁護士の配置により、法に基づいた一時保護のチェックが可能な体制となっている。児童・保護者と信頼関係を構築していく。

③一時保護所は、都と児童相談所設置区との協定による広域利用を活用し、確保している。保護が必要な子どもにしっかりと対応できるよう、職員のケースワーク力向上に努める。

図 マスク着用が困難な方への理解啓発について。

①マスク着用が困難な方への理解を広げるために様々な媒体で情報発信をすべき。

②当事者の意思表示カードの携帯について。

☎ ①広報えどがわ等で、マスクを着けられない方の事例を紹介し周知を行っている。

②認知度が進んでいるヘルプマークと、多くの自治体で使用している意思表示カードの両方を携帯してもらえるよう、ホームページ等に掲載していく。必要な方に使っていただき、多くの人の理解を深めていきたい。

図 新庁舎移転を見据え、紙文書の整理・削減について本格的に取り組むべき。

☎ 既に庁内で文書削減に向けて共通理解を深めている。毎年12月を文書削減の強化月間として取り組み、その進捗状況も確認していきたい。今後発生する文書については、デジタル化の推進によってペーパーレスの促進も図っていく。

図 子どもの弱視をはじめとする目の異常を早期発見、早期治療するため、3歳児健診に屈折検査を導入すべき。

☎ 国が令和4年度概算要求に検査機器購入費

用助成を盛り込んでおり、屈折検査の導入に向けて、今後検討を進めていく。

羽田新ルート中止、国保料の軽減を、特別支援教育充実を



日本共産党
大橋 美枝子



羽田空港北風新ルートについて。

①羽田空港の減便が続いている間、新ルートは必要ないため、元の海上ルートに戻すよう、国に求めるべき。

②「新しい管制方式で航空機の飛行時間の短縮に一定の効果がある」とのことから、元の海上ルートに戻すよう、国に働きかけるべき。

③航空機の減便が航空燃料のCO2削減に繋がると考えるが。

☎ ①羽田空港の機能強化は必要と考えている。安全対策等の区民の不安に対しては、国の責任において、更なる取り組みと十分な説明や情報提供を実施するよう求めていく。

②国土交通省の見解を踏まえ、国に海上ルートに戻すことを働きかける考えはない。

③現在国は、航空分野におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めており、その動向を注視していきたい。

国民健康保険料について。

①法定外繰り入れの解消を来年度も実施せず、区民の生活支援の一環として、2022年度の国民健康保険料値上げを見送るべき。

②子どもの均等割保険料軽減を就学前に限定せず、18歳高校在学まで適用を拡大することを求める。

③所得減が続いている世帯に対し、2019年度との比較で、区独自に減免を行うべき。

☎ ①現在の国民健康保険制度を守るためには、一定の保険料負担は必要だと考えている。

②既に、全国知事会、市長会、特別区長会で、国に対する要望を行っている。

③国の制度設計に従って実施しており、区独自の減免措置を実施する予定はない。

教育問題について。

①遠距離通学の解消のためにも、特別支援学級の増設計画を作成し、設置校1校当たりの人数を23区平均の約21人に近づけるべき。

②特別支援巡回指導教室の拡充について。

1)子ども10人に対し教員1人の配置に戻すよう、東京都教育委員会に求めるべき。

2)巡回指導拠点校を増やし、1拠点校当たりの担当学校数を減らすこと。また、拠点校に区費で講師を配置し、途中入室の子どもに対する指導時間の保障を。

3)新1年生の巡回指導入室の決定が入学の4月までにできるよう、5歳児健診の実施を。

③学校図書館司書の全校配置の時期は。また、全校配置に加え、各学校に最低2日間の配置を。

☎ ①今後も対象児童・生徒の動向等を見極めながら、適切に対応していきたい。

②1)教員の適正基準の引き下げについて、教育長会から都に対し、撤回の要望を行っている。

2)拠点校の配置については、児童・生徒の動向、統廃合による学校数や位置の変更等を考慮しながら、今後も適切に対応していく。指導に当たっては、専門的な見地の下、連携しながら円滑に進めることができている。現段階で区費の講師を配置する考えはない。

3)就学時健診での保護者へのアンケートの実施により、新1年生の4月からの入室が増えており、引き続き実施していきたい。

③学校図書館司書の全校配置の時期については、来年度の配置で検討を進めており、日数についても併せて検討している。

労働者協同組合・障害者乗馬・気候危機対策



生活者ネットワーク
本西 みつえ



労働者協同組合法について。

①労働者協同組合法についての考えを。

②職員や区民への理解を促すことについて。

③起業相談に対応する部署を決めておくべき。

☎ ①地域における多様な需要、課題に応じた事業の実施が一層促進されると期待している。

②国や都と連携し、理解促進に努めていく。

③起業相談には産業経済課が対応していく。

障害者乗馬について。

①ポニーランドにおける今後のビジョンは。

②ハンディを持つ子どもたちに乗馬の機会を。

☎ ①②日本障がい者乗馬協会と連携し、馬とふれあえる機会が持てるよう進めていきたい。

気候危機に対応したまちづくりについて。

①下水道の増強整備を早急に進めるべき。

②具体的な雨水流出抑制策について。

③浸水に備えるための計画策定を。

☎ ①都と連携して対応していく。

②今後も引き続き、整備を促進していく。

③区民にしっかりと啓発していく。

学校通学路の安全確保 危険箇所の把握と解消を



えどがわ区民の会
神尾 てるあき



通学路の安全性確保について。

①どのような取り組みを行っているのか。

②危険な箇所が指摘・発見された時の対応は。

☎ ①通学路合同安全点検を実施し、学校や区民からの個別の相談にも随時対応している。

②現地確認や関係機関との協議等、子どもたちの安全・安心を第一に、迅速に対応している。

学校給食にオーガニックの考え方を。

☎ 限られた給食費の中で計画的に全校での使用は難しいが、各校で工夫を凝らした食育に取り組んでおり、今後も進めていく。

学校給食後の歯みがきの実施について。

☎ 新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、学校と相談していきたい。

江戸川区SDGs中学生議会に参加した教育長の感想を。

☎ それぞれの生徒が力を合わせながら、中学生議員としての役割を見事に果たしてくれた。この経験を残された中学校生活や、その先の人生へと生かしてほしいと願っている。

ヤングケアラーの理解・支援 魅力あふれる総レク公園へ!



公明党
伊藤 てる子



「ヤングケアラー」への支援について。

①社会的認知度向上のため、周知と正しい理解の促進に、どのように取り組んでいくのか。

②ヤングケアラーの子どもへの支援のため、多職種と緊密な連携を図り、具体的な支援拡充を。

③ヤングケアラーの概念の正しい理解と子どもへの関わり方について、教職員等がどのように学び、取り組んでいくのか。

④子どもたちに対する「子どもの権利条例」への理解やヤングケアラーという概念の周知、SOSの声の上げ方について。

☎ ①実態の把握をしっかりと行った上で、様々な機会を捉えて周知啓発を行い、区内における認知度の向上を図ってきたい。

②児童相談所を中心に福祉や介護、医療、教育等の関係機関が緊密に連携し、適切な支援に繋がるとともに、相談しやすい環境づくりを行う。

③ヤングケアラーについて生活指導主任会やその他研修会でも取り上げている。

④タブレットや令和4年度版の社会科副読本に条例を取り上げ、中学校では、ヤングケアラーについても学ぶ機会を設けている。1人で悩みを抱え込まないよう、相談体制を整えていく。

精神障がい者への理解促進と「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築について、どのように推進していくのか。

☎ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、4つのワーキンググループを官民一体で立ち上げ、課題解決を図っている。ピアサポーターを含む関係機関とともに、障害者理解に繋がる普及啓発を行っていく。

小中学校におけるSDGsの取り組みについて。

①SDGs学習の一環として、各学校の校歌に手話を付ける取り組みを。

②各学校の取り組みを共有するため、「SDGsサミット」の開催等、新たな体験学習の場を。

☎ ①障害者理解に向けた教育は、各学校が実態に合う形で考えていくことが大切である。

②生徒たちがSDGsの視点を持って自ら考え、実践できるよう、それぞれの考えを話し合える機会を作っていくことは大切であり、学校と相談しながら取り組んでいきたい。

所有者不明土地問題について、区全体で予防と活用を考えていく必要があると考えるが。

☎ 現在、国では法改正や制度構築が進められており、その動向を見ながら有効に活用できる方策を研究していきたい。

総合レクリエーション公園及び新左近川親水公園のリニューアル事業について。

①事業協力者方式の概要とねらい、本区が描くリニューアル事業について。

②区民の声を聞く機会を設け、区民のためのリニューアル事業に。

☎ ①事業協力者方式は、民間事業者から整備アイデア等を提案してもらい、公園利用者のサービス向上となる最良な事業者選定により事業を進めていくものである。リニューアル事業については、新たな賑わい空間の創出や共生社会の実現等の効果をねらっている。

②地域の皆様にしっかりと説明し、意見を聞きながら丁寧に進め、皆様に喜んでいただける公園づくりを心がけていきたい。



議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



令和3年第4回定例会

全会一致となった議案等の審議結果

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Result (結果). Lists various budget amendments and ordinance changes, all marked as '可決' (Adopted).

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Result (結果). Lists urban planning road assistance and council proposals, with results '可決' and '採択'.

令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第7号)

補正額: 27億3,486万3千円 補正後の総額: 2,910億6,963万5千円

令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第9号)

補正額: 52億476万1千円 補正後の総額: 2,955億242万4千円

意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 議長を除く

Large table showing voting results for various proposals across different political parties (自民, 公明, 江ク, 共産, 生ネ, 区民, 無所属). Results include '可決' and '不採択'.

※2 不採択に賛成…○、反対…×

令和3年第3回臨時会

全会一致となった議案の審議結果

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Result (結果). Shows the adoption of the 2023 supplementary budget (No. 10).

令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第10号)

補正額: 173億4,569万8千円 補正後の総額: 3,128億4,812万2千円

会派名: 自民…自由民主党、公明…公明党、江ク…区議会江戸川クラブ、共産…日本共産党、生ネ…生活者ネットワーク、区民…えどがわ区民の会

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら→



Table listing newly accepted requests and petitions, such as those regarding the Tokyo 2020 Olympics and road improvements.

Table listing requests and petitions that were not accepted at the meeting, including one regarding energy transition.

議員から提出された議案

一意見書は各関係機関に送りました一

○固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書

〔東京都知事 あて〕 小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の令和4年度以降の継続を東京都に求める。

○国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書

〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、内閣官房長官 あて〕 憲法は、国家の基本規定であり、その内容については、国会はもちろんのこと、主権者である国民が幅広く議論し、その結果が反映されるべきである。よって、江戸川区議会は、国の責任において、日本国憲法について、国会において活発かつ広範な議論を推進するとともに、国民的議論を喚起するよう強く求める。



総務委員会 主な議案審査内容

○令和3年度江戸川区一般会計補正予算（第7号）

・経営企画費

委員より、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について質問があり、執行部より、当交付金は、感染拡大の影響を受けている地方経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため創設された交付金であり、コロナ対応のための取り組みである限り、地方公共団体が原則自由に活用できるものである。昨年度は、緊急対策融資の信用保証料補助や利子補給、学校給食費の無償化、医療従事者の支援事業等に活用したとの答弁があった。

これに対し、委員より、当交付金を更なる地域活性化の起爆剤として活用していくことが要望された。

・継続費の補正

委員より、塩沢江戸川荘の整備スケジュールと整備概要について質問があり、執行部より、今後は、令和4年第2回定例会へ契約議案を上程すべく、事業者選定等の準備を行い、令和6年7月の竣工を目指している。また、別棟として3階建ての温浴施設の増築を予定している。温泉については、温泉の宅配サービスを利用する方法を採用したとの答弁があった。

これに対し、委員より、本施設が両都市の友好の象徴として、区民のみならず、南魚沼市の方々にも広く利用される施設としていくこと。また、遠方施設の工事ではあるが、各種工事の発注に際しては、区内業者育成の視点も踏まえ、十分配慮していくことが要望された。

○令和3年度江戸川区一般会計補正予算（第9号）

・子ども家庭費

委員より、子育て世帯への臨時特別給付金について質問があり、執行部より、18歳以下の児童の養育者に対し、所得制限等の一定の条件の下、児童1人当たり10万円を支給する。先行して5万円の現金給付を行い、残りの5万円の給付方法については、今後検討していくとの答弁があった。

これに対し、委員より、本給付金は、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響に苦しんでいる子育て世帯に支給するものであるため、特に申請を必要とする方々に対し、しっかりと周知を行うこと。また、残りの5万円については、現金給付か、クーポン配布かの判断が各自治体に委ねられているため、本区の実情に応じて、よく検討することが要望された。

・健康費

委員より、5歳から11歳までの新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について質問があり、執行部より、来年1月の接種券の発送に向けた準備を進めており、接種体制については、医師会と連携し、小児科を中心とした区内医療機関での個別接種を想定している。詳細が決まり次第、ホームページ等で周知していくとの答弁があった。

これに対し、委員より、ワクチンの接種、未接種に関わらず、子どもが区別や差別的な扱いをされないように特段の配慮をし、進めていくこと。また、保護者同伴となるため、土日や平日夜間等に実施している医療機関の情報についても周知していくことが要望された。

南魚沼市が江戸川区を表敬訪問

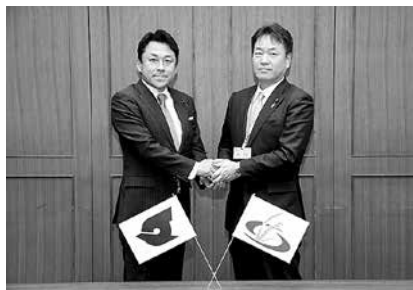
令和3年12月22日に新潟県南魚沼市長・市議会一行が江戸川区長・区議会を表敬訪問しました。

江戸川区は、令和2年8月5日、新潟県南魚沼市と友好都市盟約を締結しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策として、Web会議システムによる締結式が行われたため、締結以来、初めての対面となりました。

この日は、表敬訪問終了後、なぎさ公園にて「ブイロクの木」と「(仮称)角野栄子児童文学館用地」の視察が行われました。



■締結式の様子



■表敬訪問の様子



■行政視察の様子（ブイロクの木）

【これまでの交流】

昭和63年12月
旧塩沢町内に「塩沢江戸川荘」を開設

平成2年10月～
「江戸川区民まつり」に物販、文化紹介
で南魚沼市の観光協会が参加

令和2年8月
友好都市盟約をオンラインで締結

区民の皆様に「開かれた区議会」であるため、 より見やすい区議会HPを目指しています



区議会ホームページでは、より多くの皆様に議会活動に親しみをもってもらえるよう、様々な情報を発信しています。

そのうちのひとつとして、定例会や臨時会、予算・決算特別委員会の映像を公開しています。過去の本会議等の録画配信映像はもちろんのこと、本会議等開催日にはライブ中継もご覧になれます。より多くの方にご覧いただけるよう、本会議においては、手話通訳の映像を合成して配信を行っております。

その他にも、各種会議録、議案や請願・陳情の審査・審議状況、審議結果、会議の予定、議員名簿、区議会だよりのバックナンバー等、議会関連情報の積極的な発信に努めています。

また、国籍が多様化する在留外国人への議会関連情報の発信を強化するため、令和3年7月から、スマートフォンやパソコン等で日常的に使用する言語にあわせて、108か国語の表示が可能となりました。

さらに、同月、従来の「区議会だより編集委員会」を拡張した「区議会広報委員会」を設置することが決まり、区議会だよりに限らず、区議会ホームページや区公式SNSと連携した議会関連情報の発信についても協議することになりました。

今後も、議会が区民の皆様にとってより身近なものであるため、区議会広報委員会が中心となり、より見やすい区議会ホームページを目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

区議会ホームページは、上記QRコードからご覧になれます。ぜひ、ご覧ください。

写真で振り返る江戸川区議会の1年間

2月

令和3年第1回定例会において
予算特別委員会を開催し、
令和3年度の予算を審査しました。



5月

臨時会が開催され、議長の交代や委員会の
メンバーが変更になりました。



7月

広報活動を効果的かつ効率的に行うため、
従来の「区議会だより編集委員会」を拡張し、
「区議会広報委員会」を設置することが
決まりました。



10月

令和3年第3回定例会で決算特別委員会が
開催され、令和2年度の予算が適正に執行
されたかを審査しました。

11月

江戸川区SDGs議員連盟の
主催で、令和3年11月6日に
「江戸川区SDGs中学生議会」
が開催されました。



第3回臨時会の概要

令和3年第3回臨時会は12月21日に会期1日間で
開かれました。

この議会には区長から、住民税非課税世帯等に対する
臨時特別給付金給付事業費と子育て世帯への臨時特別
給付金給付事業費が計上された補正予算の議案1件
が提出され、全会一致で可決されました。これにより、
令和3年度子育て世帯への臨時特別給付について、江
戸川区では10万円を現金で一括給付することが決ま
りました。

区長から提出された議案

○議案

・ 令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第10号)

令和4年第1回定例会開催予定

2月17日(木)	本会議(議案上程、委員会付託)	
22日(火)	本会議(一般質問)	
24日(木)	本会議(一般質問)	
28日	} 予算特別委員会	
3月1・3・4・7・8・10・14日		
15日(火)		常任委員会(議案審査)
16日(水)		各常任委員会(請願・陳情等の審査)
25日(金)	本会議(委員会報告及び表決)	

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時または午後1時30分開会予定です。
詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎高木 ひでたか ○竹内 すずむ
岩田 まさかず 小俣 のり子